



向山小学校の教育目標：○やりぬく子 ○思いやりのある子 ◎よく考える子

“One for All, All for One.”

校長 早川 修一

ラグビーのワールドカップが始まりました。日本が初戦でロシアに快勝し、この先がますます期待されるところです。私ごとですが、学生時代にラグビー部に所属していたので、始まってから毎日わくわくドキドキしながら過ごしています。

ラグビーといえば、決してなじみ深いスポーツとは言えないかもしれませんが、楕円形のボールを使うことや、「トライ」、「ノーサイド」などの言葉は知っている方も多いのではないのでしょうか。

ラグビーはボールを使ったスポーツの中では最も多い人数、15人で戦います。ポジションの種類が多く、それぞれ役割が異なり、一人一人がその役割をしっかりと果たさないとチームとして成り立ちません。

私の好きな言葉の一つに、“One for All, All for One.”があります。ラグビーを始めたばかりの高校生の頃に初めて出会った言葉でした。この言葉も、今ではけっこう知られるようになりました。意味は、「一人はみんなのために みんなは一つのことのために」。(「一つのこと」は勝利を意味します。)当時の私は、チームの勝利のために体を張ってプレーするラグビーならではの言葉だと思っていました。でも、教職について間もなく、学級や学校、職場など、グループや組織で一つの目的を達成しようとする時、どこでも当てはまることだと気付いたのです。先月の学校だよりで紹介させていただいた樋口先生の、「同じ目標に向かってみんなで力を合わせられるのが仲間。だから、学校で一緒に生活している『全員が仲間』である。」という言葉にもつながると思います。

ワールドカップを機に、テレビでもラグビーというスポーツがたくさん紹介されています。「ラグビーワールドカップが日本で見られるのは4年に一度じゃない。一生に一度だ。」という言葉もあります。この機会に、子供たちがたくさんのことを学んでくれることを願っています。

話は変わりますが、来年は東京オリンピック・パラリンピックです。練馬区内の全小中学校が、観戦の機会をいただけることになりました。向山小では5・6年生が、8月29日(土)の午前中、オリンピックスタジアムでパラ陸上競技(トラック&フィールド)を観戦する予定です。詳しいことにつきましては、追って連絡いたします。

令和元年度学力調査（5年生・6年生）結果のお知らせ

令和元年度の「全国学力・学習状況調査」（6年生）と「東京都児童・生徒の学力向上を図るための調査」（5年生）の結果をお知らせします。なお、紙面の都合で、特徴が明らかで、特にご家庭でご理解いただきたい部分のみのお知らせとなることをご了承ください。

【6年生 全国学力・学習状況調査（4月18日実施）】

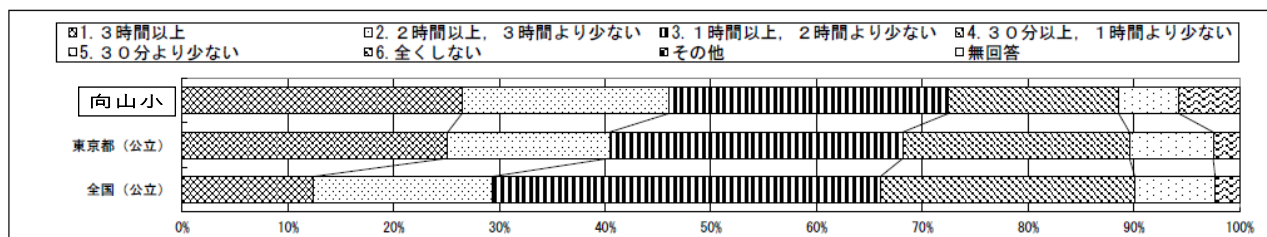
（1）各教科、観点ごとの正答率 ※太字は全国平均を上回ったもの。

国語	学習指導要領の領域別 平均正答率(%)				国語全体 平均正答率(%)
	話す・聞く	書くこと	読むこと	言語文化	
向山小	70.1	52.1	80.8	54.9	63.0
東京都	73.1	55.4	83.0	55.7	65.0
全国	72.3	54.5	81.7	53.5	63.8

算数は、すべての領域で全国平均を上回りました。特に前年度は比較的低かった「図形」領域が高い正答率でした。国語は、「言語文化」の領域で全国の平均を上回りました。しかし、前年度に上昇した「書くこと」の領域が再び低下しました。様々な場面で「書く」指導を心がけていきます。

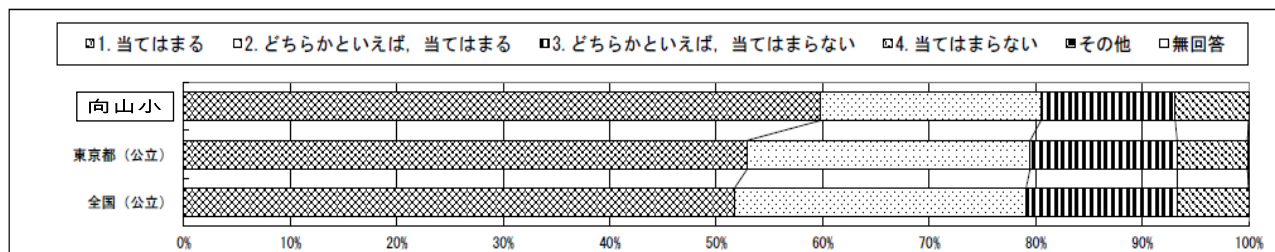
算数	学習指導要領の領域等別 平均正答率(%)				算数全体 平均正答率(%)
	数と計算	量と測定	図形	数量関係	
向山小	69.6	54.8	83.9	72.4	72.0
東京都	66.7	57.5	79.0	72.2	70.0
全国	63.2	52.9	76.7	68.3	66.6

（2）家庭での学習時間（塾や家庭教師の時間を含む）



家庭学習の時間の目安として「学年×10分」とお知らせしていますが、6年生はその目安となる1時間以上学習している子供が7割を超えています。これは都や全国の平均を上回っています。一方で、「30分未満」や「全くしない」子供が1割以上いて、これも都や全国の平均より高く、本校の子供の家庭学習は、「する・しない」の二極化が進んでいることが分かります。

（3）算数の授業で新しい問題に出合ったとき、それを解いてみたいと思いますか。



6割の子供が「当てはまる」と答え、都や全国の平均を上回りました。ほかの項目でも、「算数の授業で学習したことを、普段の生活の中で活用できないか考える」「算数の授業で問題を解くとき、もっと簡単に解く方法がないか考える」などが比較的高い回答でした。一方で、「算数の授業で問題の解き方や考え方が分かるようにノートに書いていますか」の設問に対しては、「当てはまる」と答えた子供は都や全国の数値より低くなっています。ノートを書くことで、思考力・表現力が向上します。今後は、ノート指導に一層力を入れていきます。

【5年生 「東京都児童・生徒の学力向上を図るための調査」(7月4日実施)】

(1) 各教科、観点ごとの正答率 ※太字は都平均を上回ったもの。

国語	話す・聞く	書く	言語	読む	国語全体
向山小	76.4%	77.5%	72.6%	72.4%	74.0%
東京都	65.3%	70.4%	67.4%	67.4%	67.6%

社会	思考・判断・表現	技能	知識・理解	社会全体
向山小	73.8%	72.5%	85.6%	75.7%
東京都	63.5%	66.8%	70.6%	66.7%

算数	思考・判断・表現	技能	知識・理解	算数全体
向山小	57.0%	77.4%	74.9%	70.5%
東京都	47.2%	65.0%	67.6%	60.1%

理科	思考・判断・表現	技能	知識・理解	理科全体
向山小	60.6%	66.8%	58.4%	61.0%
東京都	53.0%	67.0%	55.0%	56.8%

4教科全てで、都の平均を上回りました。観点別では、理科の「技能」を除いて都の平均を上回りました。特に社会の「知識・理解」は都の平均を15ポイント上回っています。全般的に良好な結果ですが、個人差が大きいことも事実です。分からないでいる子供に一層目を向けた指導を心がけていきます。

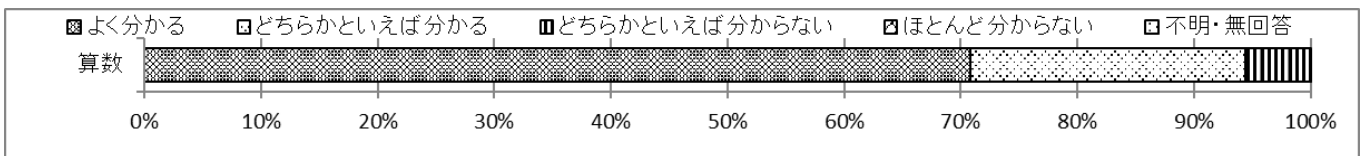
(2) 4教科の正答率と「学校以外の学習時間」(塾・習い事は除く)の関連

学校以外の学習時間	国語の正答率とのクロス			社会の正答率とのクロス			算数の正答率とのクロス			理科の正答率とのクロス		
毎日2時間以上	12人	84.3%	77.3%	12人	85.6%	80.3%	12人	86.5%	74.1%	12人	74.6%	63.2%
毎日1時間～2時間未満	28人	77.6%		28人	79.6%		28人	74.9%		28人	60.3%	
毎日30分～1時間未満	27人	73.9%	64.2%	27人	78.6%	59.2%	27人	67.8%	56.2%	27人	61.2%	51.3%
毎日30分未満	15人	65.2%		15人	61.9%		15人	59.5%		15人	51.6%	
学習をすることはない	5人	61.1%		5人	51.1%		5人	46.2%		5人	50.5%	

※不明・無回答は除いてあります。

社会を例にとると、家庭での学習時間が毎日30分以上の子供67人の正答率は80.3%です。30分未満の子供20人の正答率は59.2%で大きな差が出ています。他教科もほぼ同様で、家庭学習の時間が長い子供の正答率が高くなっています。家庭学習の大切さがうかがわれます。

(3) 算数の授業が「分かる」割合とその理由



9割を超える子供が「よく分かる」「どちらかといえば分かる」と答えています。その理由で多かったのは、「コースに分かれた少人数の学習があるから」(71.4%)、「算数の問題にはいろいろな解き方があるから」(60.7%)「自分で考え、考えたことを発表する授業が多いから」(52.4%)などでした。少人数指導のよさを実感している子供が多いようです。今後も、習熟度別少人数指導の良さを生かし、基礎基本の定着を図るとともに、いろいろな解き方を自分で考え発表し合える授業を工夫していきます。

10月行事予定

- 1日(火) 下田移動教室6年
給食試食会 視力検査3年
- 2日(水) 下田移動教室6年 視力検査2年
- 3日(木) 下田移動教室6年 視力検査1年
- 4日(金) たてわり班会議
- 5日(土) サタデースクール 向山保育園運動会
- 7日(月) 委員会活動 安全指導日
- 8日(火) ふれあいオリエンテーリング
- 9日(水) 視力検査5年
研究授業(3年1組以外4時間授業)
- 10日(木) 特別時程5時間授業 視力検査4年
- 11日(金) 音楽朝会
視力検査6年 お米の学校5年
エバリーミニ音楽会1~3年
- 12日(土) 土曜授業日 学校公開日 防災訓練
- 14日(月) 体育の日
- 15日(火) ハッピータイム
- 16日(水) 教育会全体研究会(4時間授業)
- 17日(木) 水道キャラバン(4年)
- 18日(金) 委員会紹介集会
ふれあいオリエンテーリング予備日
- 19日(土) サタデースクール 風の子保育園運動会
- 21日(月) クラブ活動
- 22日(火) 即位礼正殿の儀
- 24日(木) 開二中研究発表(特別時程4時間授業)
- 25日(金) 児童集会
- 26日(土) ねりっこフェスタ
- 28日(月) クラブ活動 避難訓練(煙体験)
- 29日(火) 連合音楽会5年
- 30日(水) 研究授業(4年2組以外4時間授業)
- 31日(木) 歯科健診
- <11月行事予定>
- 1日(金) 体育朝会
- 2日(土) 向山町会運動会
- 3日(日) 文化の日 向山町会運動会予備日

◆生活目標

「みんなで仲良く遊びましょう」

◆あいさつ目標

『いっしょに遊ぼう』声かけて」

◆保健目標

「目を大切にしよう」

◆給食目標

「みんなで楽しく食べましょう」

ふれあいオリエンテーリング

10月8日(火)は、ふれあいオリエンテーリングです。4月から一緒に活動してきた“たてわり班”ごとに過ごします。光が丘公園内のオリエンテーリングでは、リーダーの持っているかごをねらって玉を入れるポイントや、出されたお題をジェスチャーで当てるクイズなど、グループで協力して挑戦する種目がたくさんあります。また、広い芝生で、班の友達と一緒に弁当を食べたり、班ごとに遊んだりする時間もあります。

朝のたてわり班会議では、6年生を中心に、各班のめあてや光が丘公園でどんな遊びがしたいかを話し合っているところです。

秋の自然の中で、1年生から6年生までが共に行動する一日です。お互いのことを思いやりながら、仲良く楽しく過ごせるとよいです。

友達のよいところもたくさん見つかる一日になりますように。当日は、お弁当、水筒等のご準備をよろしくお願ひいたします。

特活部

小中一貫教育について

小中一貫教育とは、義務教育の9年間を通して、子供がすこやかに成長することを願ひ、練馬区立の全小・中学校が実施している取組の一つです。中学校を中心に周辺小学校がグループ校になります。向山小学校は開進第二中学校と南町小学校と一緒に様々な教育活動を実践しています。

6月28日(金)には、中学校区別協議会が行われました。向山小学校の授業に中学校の教員も一緒に入って授業をしたり、3校で情報交換をしたりしました。また、10月24日(木)には開二中の研究発表会があり、向山小の教員も参加します。今後も年間を通し、様々な取組を実施していきます。

◆主な取り組み◆

1 教職員の交流(人権について三校合同研修会)

2 児童・生徒の交流

(6年生の部活動体験・「思いやり宣言」取組紹介)

3 学習時間確保の取組(高学年の家庭学習調査)

4 人権教育の推進

(校区別協議会・9年間の人権教育計画の作成)

小中一貫教育・人権教育担当

訃報

平成26年度から向山小の校医を務めてくださっていた、内科の先生が逝去されました。謹んでお悔やみ申し上げますとともに、心よりご冥福をお祈りいたします。